

事業名 CD	0105010201	葦崎市勤労青年センター運営事業		
細分化した事業名				
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード*	

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
	中項目	健康な暮らしを守る保健・医療の充実		
	小項目	健康づくりの推進		
関連する個別計画等		根拠条例等	葦崎市勤労青年センター設置・管理及び使用料条例	
関連する事業				

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	勤労青年センターは、峡北圏域の企業に働く勤労者の、労働意欲・仲間づくり・地域づくりの場及び機会を与え、健全な育成を図ることを目的とする。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	峡北圏域（葦崎市、北杜市、甲斐市）の企業に働く勤労者。
これまでの改善経過	昭和 59 年 4 月峡北地方勤労青年センターとして開設。 平成 14 年 4 月県より無償譲渡、葦崎市勤労青年センターとなり現在至る。 平成 22 年度より葦崎スポーツクラブに業務管理を委託（平成 21 年度までは、シルバー人材センター管理）
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 □市 ■委託 □補助金 □その他（ ） 施設の開放 営業時間午前9時～午後10時まで ・管理研修棟（娯楽談話室、集会室・講習室、教養室、料理実習室、音楽室） ・スポーツ施設（ウッドジム、グラウンド、テニスコート） ・付属施設（シャワー室・更衣室）
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	峡北圏域に働く青少年たちが、文化活動・スポーツ・レクリエーション活動を通じて、仕事のあとの余暇や休日をより楽しく、有意義にすごし、明日への労働意欲を養い、健康的な明るい生活が送れるように設けられるようにする。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20 年度	21 年度	22 年度
A	事業費 (千円)	8,644	9,079	9,890
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	1,726	1,943	1,853
	一般財源	6,918	7,136	8,037
B	担当職員数(非常勤   職員 E) (人)	0.45	0.45	0.45
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	3,109	3,070	3,113
D	総事業費(A+C) (千円)	11,753	12,149	13,003
* 参考	H22)市民1人当りの事業コスト	404 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1) 担当職員数には、1 年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2) 平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20 年度(6,909 千円)、21 年度(6,823 千円)、22 年度(6,719 千円)を使用しています。

注 3) 一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	年間開館日数	(日)	310	303	308
	業務委託料	(千円)	2,669	2,838	2,691
成果指標	総利用件数	(件)	1,284	1,566	1,873
	総利用者数	(人)	20,946	24,039	23,371
	年間総利用料	(千円)	1,726	1,905	1,853
効率指標	利用者一人当たりのコスト	総事業費/総利用者 (円)	561	505	556

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 効率的な施設運営のための業務管理を韮崎スポーツクラブに委託している(H22~)スポーツ振興に貢献している団体であり、当該団体には体育指導員も加入していることから、勤労青年の勤労による疲労回復と健やかな育成に資する。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 総利用件数、総利用者数ともに例年並みを保っている。 (H21年度 利用件数 1,566件、利用者数 24,039人)		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 使用料1人50円から200円徴収しているため、一人当たり556円のコストは、ほぼ妥当であるが、施設老朽化に伴い施設修繕等を繰り返している事もあり、今後さらに上がることは避けられない状況である。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 さらなる利用者増と事業の充実を図る。	(2) 24年度 大規模改修後、利用者増に向けて広報する。	(3) 23年度 グラウンドの人工芝化に伴い大規模改修を行う。
	22年度の改善計画		
22年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 市営体育館と調整を図り、青少年の育成施設として利用者を増やす。			
課長所見	業務管理を韮崎スポーツクラブに委託し効率的な運営を行っている。		